

09年度 外務省NGO長期スタディ・プログラム

「チェルノブイリ被災者・ゼムリャキ」研修

09.09.09 ~ 10.03.08

チェルノブイリ救援・中部  
戸村 京子

受入先機関名（所在国）：

慈善団体「チェルノブイリ被災者ゼムリヤキ  
Zemlyaki (同郷人たち)」  
(ウクライナ・キエフ市)

原発事故で被災したプリピャチ市から強制疎開した被災者が助け合う互助団体。

支援者・団体は、日本のNGO「ジュノーの会」(広島)、「えんどうまめ」(山口) 他、ドイツなどの個人サポーター、ウクライナのスポンサー等。

研修テーマ：

チェルノブイリ被災者団体活動への会員の、参加意識と果たす役割、独自の組織活動の手法を学ぶ。

## 全体研修目標と方法：

1. 「ゼムリヤキ」の目的など、団体組織の設立と経緯を把握する。	・・・文献資料、聞き取り調査
2. 実施プログラムの独自の活動手法を学ぶ。	・・・日常の実務を通して
3. 放射能被災者固有の問題について、会員の健康問題、経済的問題等を調査し考察する。	・・・聞き取り・アンケート調査
4. 組織運営について、財政面などの問題点と、支援団体との関係性、会員の参加意識や課題を考える。	・・・日常の実務、聞き取り・アンケート調査、フィールドワーク



これらの研修から、

- ・ 所属団体の支援する被災者団体の活動と対照させ、研修の成果を今後の支援に役立てる。
- ・ 現在実施中の放射能汚染地域におけるプロジェクトの今後の実用化段階での住民参加・市民組織の可能性の参考とする。

# ゼムリヤキの年間活動：半期（2009.09～2010.03）

## 1. 日常の被災者支援活動

- ・ 医薬品配分
- ・ 「チェルノブイリ犠牲者の子どもたち」プログラム（障害児）
- ・ 「SOS」プログラム（貧困家庭）
- ・ マッサージ治療
- ・ 健康回復 / 機能訓練教室
- ・ ヨガ教室
- ・ プリピャチ疎開者ビデオ聞き取り記録

## 3. 文化活動

- ・ 語学教室（英語・日本語）
- ・ 青少年のための絵画教室 / コンサート・ディスコ / 絵画コンクール
- ・ 婦人のための手芸 / 料理教室
- ・ その他

## 2. 集会・イベントの開催

- ・ 恒例イベント（秋の祝日、新年・クリスマス会、国際婦人デー等）
  - ・ 特別イベント（日本の夕べ、その他）
  - ・ 被災者他団体との合同集会
- （その他、メインイベントのチェルノブイリ事故祈念集会（4・26メモリアルデー）、「地球を救おう・国際キャンペーン」等開催）



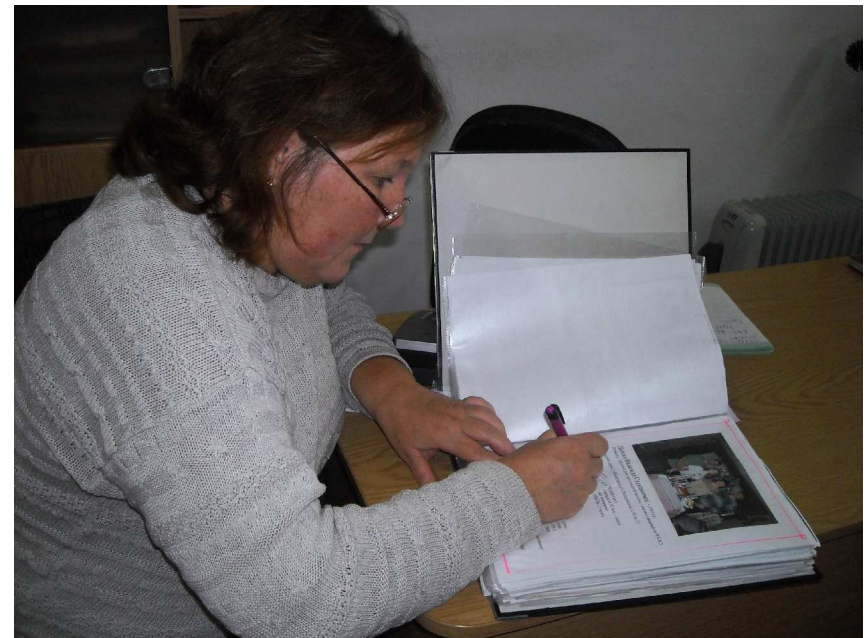
医薬品配分作業



「チェルノブイリの犠牲者の子どもたち」プログラム



赤十字からの医薬品を配分



「SOSプログラム」

## 研修の成果：被災者として人生を共有し、互いに助け合い、 ポジティブに発信しながら活動する。

### 実務研修から：

- ・ スタッフも会員も、同じ被災者として苦難の人生を共有。
- ・ 精神的サポートを重視、互いに助け合う。
- ・ ガンなど重篤な病気の発病率が高く、亡くなるスタッフ・会員も多いため、医療支援のほか家庭訪問など細やかなケアを行う。
- ・ マッサージ治療やヨガ・健康増進教室などで、予防医学的活動をすすめる。
- ・ 教育・文化プログラム、季節ごとの恒例イベントなど、担当者が自分の能力を活かし、工夫して企画する。
- ・ 「地球を救おう・国際キャンペーン」など、世界へ向けてチェルノブイリ事故をアピールする。

### 活動のキーワード：

- ・ 苦難の共有
- ・ 相互扶助
- ・ 「思いやり・相互親交」
- ・ 精神的サポート
- ・ 個人の能力を活かす
- ・ 外へ情報発信

## 研修の成果：被災者として人生を共有し、互いに助け合い、ポジティブに発信しながら活動する。

### スタッフアンケート調査より：

- ・活動には、ボランティアで家庭の事情によりローテーションを組み参加。
- ・経済状況は、少ない年金と家族の収入を合わせて、何とか生活している。
- ・自分(スタッフ)の健康状態は、入院・手術の経験もあり、腫瘍、心臓病、脳梗塞、ぜん息など複数の病気有り。
- ・現在の問題点は、国の被災者補償が有名無実化し、医薬品の高騰に苦慮。
- ・事故の影響は、現在も事故の夢を見るなど心理的影響が残る。
- ・ゼムリヤキの活動は、自分にとって「大きな家族のようなもの」、「精神的支え」、「第二の家」、「思いやり・相互親交」、「援助と出会いの場」、「人生で重要な意味を持つ活動」などの存在意義、参加意識を持つ。

### 活動の意義、参加意識：

- ・ボランティア
- ・それぞれの参加方法
- ・健康状態は良くない
- ・予防医学・情報交換の場
- ・「精神的支え」
- ・「大きな家族」
- ・「援助と出会いの場」
- ・「人生で重要な意味を持つ活動」

## フィールドワーク：ジトーミル州ジトーミル市、ナロジチ地区（チェルノブイリ救援・中部支援地）

被災者団体訪問・聞き取り調査（アンケート調査）：

- ・慈善基金「チェルノブイリの消防士たち」
- ・「チェルノブイリ障害者基金」ジトーミル市・ジトーミル州支部
- ・ジトーミル市・ジトーミル州チェルノブイリ障害者慈善基金「リクビダートル」

カウンターパート訪問・話合い：慈善基金「チェルノブイリの人質」

学校訪問：ジトーミル市及びナロジチ地区ナロジチ町、ラスキ村の小中高一環校他で、日本からのクリスマスカードの配布と交流、学校長と懇談

プロジェクト実施地の視察と作業：ラスキ村民家に滞在